



—東北生産性本部—

# 第154回理事会を開催



12月5日(水)仙台商工会議所1階小会議室に於いて、理事43名中、本人出席(代理を含む)13名、委任出席24名、監事2名中、1名の出席の中で第154回理事会を開催しました。

会議の冒頭の齋藤会長挨拶の中で、理事・監事の皆さまのご協力により、24年度決算予想が当初の約630万円の赤字から約250万円の赤字へと380万円程度の改善が図られる見通しであることからこれまでの支援に対する感謝の意を表するとともに、収支が改善されたとしても赤字体質には変わりがないことから、今後の更なるご協力ならびにご支援を呼びかけました。

本理事会での審議内容は下記の通りであります。(要旨のみ記載)

1. 第1号議案『平成24年度上半期事業報告について』及び第2号議案『平成24年度上半期決算報告について』山岸専務理事より提案説明し、審議の結果、提案通り満場一致で承認された。

◆平成24年度収支予想:当初予算▲6,288千円⇒▲2,488千円

2. 第3号議案『賛助会員の動向について』山岸専務理事より、提案説明し、審議の結果、提案通り満場一致で承認された。

◆入会11団体、退会1団体、休会1団体

3. 第4号議案『常務理事の選出（案）について』齋藤会長より経緯等も含めて提案説明、審議の結果、提案通り「吉田秋一」理事を常務理事とすることについて満場一致で承認された。
4. 第5号議案『規約の改定（案）について（書面による理事会議決を可能とする）』中村事務局長より提案説明し、審議の結果、提案通り満場一致で承認された。
5. 第6号議案『その他』の「2013年新年労使交流会」（平成25年1月22日開催）および「東北復興セミナー」（サービス産業生産性協議会主催で震災後の観光産業、サービス産業の復興への取り組みを現地から情報発信するため3月福島市内で開催予定のセミナーへの共催承認）について山岸専務理事より提案説明し、審議の結果、提案通り満場一致で承認された。

■齋藤会長より、理事会閉会挨拶で、今後とも理事会ならびに賛助会員の労使の皆さまのご支援により、赤字体質の改善を図っていききたいと要請の挨拶がありました。

### <第35回仙台シンポジウム 今後の予定>

例会開催日	テーマ	講師
<b>25年2月22日</b> (拡大例会)	<b>世界経済の真実</b> ～直面する日本の課題	<b>同志社大学大学院</b> <b>浜 矩子氏</b>

#### **第一義 ～師走の総選挙公示 政治の再生を問う選挙～**

第46回衆議院議員選挙が4日に公示され、12政党に諸派、無所属を加えて現憲法下で最多の1,504人が立候補した。民主党政権3年間の評価をはじめ、経済政策や消費税増税、環太平洋連携協定、原子力政策などが争点として挙げられている。昨年3月11日に発生した東日本大震災と東京電力福島第一原発事故が、我が国のありようを大きく変えてしまい、景気の低迷と相まって国難と言われる中、政治はどこまでリーダーシップを発揮できたか疑問が残る。被災地復興もまだまだ先が見えない。二度目の冬を迎え、職にも就けず生活に困窮している被災者の皆さまは一刻も早い復旧・復興を願っている。被災者の皆さんがこの政治空白をどう見ているのか、候補者は肝に命じなければならない。3年前には民主党が追い風に乗って政権交代を果たしたが、にわか仕込みのマニフェストや第三極などというムードに惑わされることなく、冷静かつ慎重に政党・候補者を選択することが求められている。(記S・Y)